

ひらかたしりつにしながらお  
しょうがっこう だより



5月は  
目標を確かめながら  
一つひとつ実行する  
5月

第4号  
令和8年5月1日  
児童数335名

## 子ども達が安全に学校生活を送ることができるように

本校では、すべての児童が安全・安心な環境の中で学び、健やかに成長することを最も大切にしています。次のことにつきまして、関係法令等に基づく学校の責務をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

### 1. お子様のお話や気になる外傷から学校がすべき対応について

児童への注意、しつけの際に虐待・体罰は、家庭内を問わず、児童の将来を考えた心身の健全な育成を考えると決して許されるものではありません。

学校教職員は、児童虐待の防止等に関する法律（児童虐待防止法）第6条に基づき、児童に対する虐待が疑われたり、本人の傷が認められたり、本人からの訴えがあったりするだけでなく、同様の内容が把握された場合は、枚方市や大阪府の児童相談所等の関係機関へ通告する義務があります。

これは、子どもの命と権利を守るための制度です。保護者の皆様におかれましても、学校が法令に基づいて通告等の対応を行う場合があることをご理解ください。（令和元年6月に児童福祉法等改正法が成立し、親権者等は、児童のしつけに際して、体罰を加えてはならないことが法定化され、令和2年4月に施行されました。）



### 2. いじめの見逃しゼロを目指して



#### (1) いじめの早期発見について

文部科学省の「生徒指導提要」では、いじめは必ずしも一方的な関係だけでなく、日頃は仲の良い関係の中でも起こり得ることが示されています。

そのため、ご家庭においても、日常的な会話を通して、お子様の人間関係の様子を把握していただくようお願いいたします。

お子様の仲の良い友達やグループにいる児童の名前、いつ・どこに・誰と遊びに行っているのかなど、普段のお子様の行動についてお話しする機会を日頃よりつくって下さい。

#### (2) 学校の対応について

いじめが疑われる、または認知された場合、学校は「いじめ防止対策推進法」および本校のいじめ防止基本方針に基づき、以下のように組織的に対応します。

- 1.原則として複数（2名以上）の教職員で出来るだけ個別でお子様から話を聞き取ります。聞き取りの際には子ども達が安心して話せるような場をつくります。
- 2.聞き取りに際して、その場の状況・友達関係を確認めるために直接関与していないと思われる児童にも話を聞かせてもらうことがあります。
- 3.聞き取った内容を基に、いじめ防止対策委員会で情報を共有し事実を突き合わせて、改善に向けて方針・方策などを決めます。

### (3) 指導の考え方について

学校は、被害を受けた児童を守ることを最優先としつつ、関係した児童に対しても、行為の重大さを理解させ、成長につなげる指導・助言を行う責務があります。

内容については該当の保護者の方にも出来るだけお伝えはいたしますが、場合によっては、今後も続く学校生活を鑑み、該当の保護者・児童どうして話し合いの場を持たせてもらうこともありますことをご承知おき下さい。（※内容によっては、警察・児童相談所等の関係機関と情報共有を行うことがあります。）

### 3. SNS等の利用についての危険性について

子ども達のSNS等の使い方にも大変気になることが多々あります。また、オンラインゲームなどの通信を伴うゲームを友達と一緒にしている場合にも**児童間でのコミュニケーション不足によるトラブルが起こっているようです。**



放課後の友達間のトラブルについては原則ご家庭での対応をお願いいたします。

特に、LINEの公式な利用推奨年齢は12歳以上とされています。それまでに使用方法やルールを学ぶ指導をご家庭でもして下さい。**本校としては利用を自粛して頂きたいと考えています。**LINEは便利なツールである一方、年齢や使い方によっては、思わぬトラブルにつながる可能性もあります。**小学生の間に利用する場合は、必ず保護者の監視・管理のもとでの使用をお願いいたします。**



### (その他のご協力) 校外学習における費用負担について

校外学習でバス等を利用する際、事前に事業者と契約を行っています。そのため、インフルエンザ等による体調不良者が多数発生し、やむを得ず中止・キャンセルとなった場合でも、キャンセル料（当日は100%）をご負担いただく場合があります。

これは、民法上の契約関係および事業者の約款に基づくものであり、キャンセル料を補填するための保険加入については、保護者負担が過大になると判断し、現時点では加入しておりません。発生頻度は極めて低いと考えておりますが、本校の昨年度生起した該当学年の学級閉鎖のように当日の校外学習を延期・中止にする場合も考えられます。

あらかじめご承知おきください。（昨年度は公共交通機関も利用しましたが安全性・時間的な観点から課題もあり、今年度は全学年バスを利用する予定です。）